

25年のあゆみ

平成4年



社団法人 全日本断酒連盟

呉みどり断酒会



二十五年に想う

呉みどり断酒会会長 入澤 卓

私達、呉みどり断酒会は昭和四十二年二月、長尾病院内でスタートして、その後地域断酒会として定着し、全日本断酒連盟に加盟、今日迄徴力ながら酒害者の救済・酒害の啓発に断酒会活動を展開して参りました。

この機にあたり、深い御理解と御指導、御援助をいただいた長尾病院長 長尾邦雄先生、呉みどりヶ丘病院長 長尾澄雄先生をはじめ、行政諸機関、そしてすぐれた諸先輩、よき同僚、友人、一般の方々に心より感謝申し上げます。

かつて私達は己がまねいた酒害の結果、云いしれぬ敗北感と自尊心との葛藤に嘖まれて来ました。断酒会は先づもってこのアルコール症と云う病に悩まされた者同志の共感をもつことにはじまり、互いの努力によってこの病いを克服す意欲を培うことで酒から脱却しようとするものであります。

そこには、この酒害の体験者のみが識るなものにも替え難い言葉以前の通じ合えるものがあります。酒から離れ、何ものにも束縛されない解き放たれた心の自由、自分らしさをとりもどしてゆくのが私達の目ざす断酒であろうと思えます。

人と酒との関りの永い歴史の中で、とりわけ酒が一般化して来た産業革命より数えても二百数十年になるのに比べて、この国に断酒会が出来て三十年にしかありません。ましてこの社会的変容が加速した現在、私達の断酒会活動もここに来てより人間的な、そしてより科学的・技術的対応が迫まれて居ります。それだけに昨年発刊された断酒必携「断酒の指針と規範」は誠に時機を得たものであります。今後これを充分に活用して、己の断酒と断酒会により充実した知的距離をもって観察して参りたいものであります。わずか八十年の人生、健やかに生きるために新しいライフスタイルを作って行きたい想います。



祝 辞

呉市長 佐々木 有

呉みどり断酒会におかれましては、この度、創立二十五周年の記念すべき年を迎えられ誠におめでとうございます。

これまでの永い間、断酒会の充実育成と円滑な運営に努めてこられた会長、会員、ご家族、そして病院長初め病院職員の皆様のご労苦に対し心より敬意を表する次第であります。

近年の社会構造や生活様式の急激な変化に伴い、現代人がストレス状態に陥る要因は必然的に多様化しており、その解消手段として飲酒にはしる人々は増加の一途を辿っている感があります。結果として、アルコール依存症を初め心身の健康障害や、経済的・社会的破綻、家庭の崩壊にいたる例が多く誠に憂慮に堪えません。

酒やタバコに代表される嗜好品は、度を越えてたしなむ場合、人にとって害となりますが、これを断ち切るには強い意思と努力が必要であることは言うまでもありません。

しかし人間の意思は弱く誘惑は強いものであります。それを思いますと、会員に常に温かい愛情を注ぎ、挫けそうになる心を励まし、力強く支えてこられました断酒会の皆様のご功績は称賛に値するものであります。

この二十五周年の記念すべき年を新たな出発点として、会員には一層のご精進をいただき、ご家族、病院職員共々一体となつてこの事業の推進にご尽力いただきますよう切望いたします。

終りに断酒会の今後ますますの充実とご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



創立二十五周年をお祝いして

広島県立総合精神
保健センター所長

平岡英三

呉みどり断酒会の創立二十五周年おめでとうございます。このたびは、記念誌「呉みどり断酒会二十五年のあゆみ」を発刊されるとのこと、心よりお祝いを申し上げます。

呉みどり断酒会は全断連に八番目に加盟されたと聞いております。広島はもちろんのこまきに全国の断酒会の草分けとも言える貴重な存在であるといえます。その草創期には長尾病院と、また広島のアアルコール医療を引っ張って来られた呉みどりヶ丘病院との確固とした連携の元に築き上げて来られた二十五年の歩みに敬意を捧げる次第であります。

我が国には現在問題飲酒者とされる人々が約二三〇万人とも言われております。町中にアルコール飲料があふれ、子供や女性をターゲットにしたテレビコマーシャルが一日中流されている毎日です。飲酒がファッションにさえなっている現状であります。このような中でアルコール症という病気を患うことは決して不思議なことではありません。そこでこれからは予防に重点を置かなければならないと思います。特に、中学生高校を中心とした世代への飲酒問題に関する教育を早急に始める必要があるでしょう。もはや「未成年者の禁酒」ということだけでは対応ができません。

すでに明らかなことですが、アルコールそのものが悪い訳では決してない。悪いのはアルコールと人間との関係であるといわれています。酒と人とのよい関係を保つ為の教育を早期から行う事が重要となります。このように考えますと、今後貴会の果たされる役割は重大なものがあるかと存じます。

終わりに、呉みどり断酒会のご発展をお祈りしてお祝いいたします。



青山もと不動 白雲自ずから去来す

臨済宗仏通寺派教学

香川寛光

もう時効だとおもいますし、格別本人の不名誉ということもないので四十年前の思い出を聞いてください。

戦災のバラック住まいをしていました。街には進駐軍があふれていました。パンパンとかオンリーとか呼んでいましたが赤いスカートに濃い口紅の若い女が進駐軍の兵士の腕にぶらさがって得意そうに口笛を吹いたりチューインガムを噛んだりしていました。そんな女のひとりにわたしの小学校の同級生がいました。

二、三年して世の中が変わり、彼女は東京に去っていったのです。その時彼女はわたしにこういいました。

「もう身も心もボロボロなんよ。わたしは腐った女よ」

わたしは言ってやりました。

「絶対にボロボロになんかにならない強く美しい心を人間はだれも持っているよ、仏さまは教えておいでになるよ」

「そうかいねえ」と彼女は悲しそうに東京に行ってしまいました。

それから十年ほどして彼女がまたわたしの目の前にあらわれました。がっしりとした男性と赤ちゃんを抱いています。彼女はこういいました。

「この人がね、わたしのことを強く美しい女だと、そう言うのよ」

みなさんが、依存から創造にむかっておられる姿を、強く美しいと思います。



祝 辞

長尾病院院長 長尾邦雄

呉みどり断酒会創立二十五周年、誠におめでとうございます。

昭和四十二年二月九日、長尾病院内に於いて、ささやかに播かれました一種の種は、その後順調に成育して、ここに四半世紀の歩みを着実に重ねられました事、誠に感無量であり、感激に絶えない所だと思えます。

会の創立の原点を知る者の一人として、本当に有り難く感謝の言葉もあります。会をここまでリードしてこられました役員を始め会員の皆様の真摯なご努力に対し、心より敬意を表したいと思います。

最初は、院内断酒会として発足したみどり会も、アルコール医療に献身する、呉みどりヶ丘病院の活発な活動と二人三脚、常に堅いきずなに結ばれて、多くの人々と共に、断酒道の修得につとめられ、今や全断連の強力な一つの断酒会としての地位を堅く確立されました事、本当にご同慶に絶えない所だと考えます。

今回、記念行事として再び呉の地で、呉市が誇る文化の殿堂、呉市文化ホールに於いて第二十七回中国断酒ブロック（呉）大会を主管し、多くの同志の皆様と共に、初心に返り、又、明日に向かっての断酒向上に資されますこと、誠に意義ある事と思えます。呉の地に灯されました断酒の焰が、何時までも消える事なく、又、多くの皆さんの支援により、これからも益々精進、努力、向上されます事を、心より願ひながら、お祝いの言葉に代えたいと思えます。



祝 辞

(社)全日本断酒連盟顧問
呉みどりヶ丘病院々長

長尾澄雄

呉みどり断酒会がこの度二十五歳の誕生を迎えられたこと、当初よりかわり合いをもたせて頂いた一人として、ひとしお感慨の深いものがあり、ご同慶の至りであり、先ずもって心より御芽出度うと申し上げます。

わが国において八番目に生まれた断酒会であり、現在全国に数百の会があると云う現状から考えてみた場合、パイオニアの一員として考えても差し支えないと考えます。又、それに相応せる実績を挙げて来られたことは誰しもが認める所でありましょう。

ここまでやって来られた会長さんを始めとする会員の皆さんに、心より敬意を払うものであります。

さて、当呉みどりヶ丘病院も貴会の発足に遅れること三年にして、わが国では民間立としては最初のアルコール症専門病院として開院したわけでありますが、これも貴会の存在なくしては創設など到底考えうべくもなく、又、当初の計画通り、貴会の病院治療へのご協力が絶大なる効果を挙げていることはご存知の通りであります。

貴会発足当時には、一般には「アルコール中毒」と呼ばれていた酒害は現在『アルコール依存』と概念も変わり、世間の認識も変わって来た昨今であります。かかる世間の啓蒙に果たされた皆さん方の役割は絶大なものがあつたということが云えます。

しかし、未だこの病気に對する誤れる認識というものが完全に払拭されたわけではありません。

皆さん方の今後のご精進こそが、世間の理解を拡め、ひいては、この病いに苦悩する同憂の仲間を救い出すことともなるわけであります。

各人が自らの役割を更に深く噛み締め頑張っていられることを願ひ、貴会の一層のご発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

呉みどりヶ丘病院総婦長 曾我吉子

呉みどり断酒会二十五周年記念御目出度うございます。

二十五年と云う永い間は決して平穩無事な日ばかりではなく、幾多の試練を乗り越えて此処まで会長様を始め会員の皆様のご苦
労は大変であったと聞いています。

少人数で結成された断酒会が年毎に会員数も増え、現在では地域断酒会として活発に断酒活動しておられる会員の皆様に敬意と
感謝を捧げます。

昭和四十二年二月九日、長尾病院、呉みどりヶ丘病院両院長先生を始め寺岡総婦長様のご指導、ご援助にて、入院中の患者さん
二十九名と共に長尾病院酒害センターにて発会式が開催されました。皆様方はとても緊張しておられました。今その当時のことが
走馬灯のように思い出されます。

それから二十五年間一度も休むことなく毎週土曜日の断酒例会が現在まで続いております。入院中の患者も共に出席させて頂い
ています。入院中の患者さんにとりましては先輩方の「体験談」を聞くことにより、自己を反省し、酒害の恐さを自覚し、アルコ
ール依存症であることを認めることが出来「断酒の決意」も湧いて来ていると思います。

酒害は「心の病」だと云われます。人間の心は弱いもので、その心の弱さから生まれる淋しさ、苦しさを酒で忘れようとする人
酒の虜により、酒で悩みを癒すことが出来なくなった人達が益々深見に填まって行き、如何することも出来なくなった人達だと思
います。

二十五年前とは異なり「アルコール症」は増々増加しており、酒の消費量も多く、未成年者を始め女性の方や定年退職をされた
方達も多く、酒害で苦しんでおられる人が多いようです。酒害の克服は入院治療のみでなく、アルコール依存症を認めることと、
「初心」を忘れぬために毎日の断酒と「例会出席」を継続することが一番大切だと思えます。

会員の皆様方には「断酒活動」を通じて、多くの酒害者更生のために一層の成果を上げて頂き、呉みどり断酒会が二十六周年に
向かって益々発展され、会員の皆様が一人でも多く断酒を継続して頂けれることを祈って、お祝いの言葉と致します。



祝 辞

(社)全日本断酒連盟理事長 井原 利

呉みどり断酒会創立二十五周年記念大会おめでとうございます。お慶びの日を迎えられました会員・家族の皆様にご心からお慶び申しあげます。

貴会は昭和四十二年二月に発足されてから今年で二十五周年になりますが、その間の道程は決して平坦な道だけではなかったと思います。途中幾多の障害をのりこえて、呉の地に断酒の「かがり火」を燃やし続けて、現在では中国ブロックの中でも有数な断酒会にまで発展をとげられ、研修会等を重ねられ、会員の資質の向上と、酒害者の回復の実をあげられました事を高く評価致しますと共に、入沢会長様を始め、皆様のご努力に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

さてこの席を借りまして、所信の一端を申し述べ、皆様のご理解と格別のご協力を得たいと存じます。

近年の価値感の多様化と、全断連加盟断酒会の増加は「断酒」および「断酒会」のもつ原理・原則に関して、さまざまな解釈を生み、ときとしては、誤った方向に逸脱する懸念も出始めました。したがって従来なら文章化しなくても、意見統一が出来たことが不可能となり、全国統一された断酒会ならびに会員のあるべき姿を示すものをつくりたいと願い、平成元年秋以来鋭意検討を重ね、ようやく断酒新生指針及び断酒会規範の原案をとりまとめ、これに対する解説を加えて「断酒必携」の書として発行しました。「指針」は酒害者の回復への道しるべであり、「規範」は組織が求める行動の形を示す基本理念であり、これに行動による肉づけをしていただくことよって、断酒新生への道を実践に歩み、断酒会を益々発展させられるようお願い申し上げます。

この外ブロック制の強化等々課題や問題は山積しておりますが、皆様の英知と総力を結集して問題解決にとりくんで参ります。最後になりましたが、本大会を契機として、貴会の更なるご発展と、入沢会長様を始め、会員、家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、粗辞ではございますが祝辞といたします。



祝 辞

(社)全日本断酒連盟名譽会長

大 野 徹

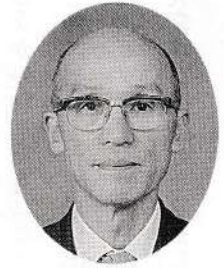
ここに第二十七回中国断酒ブロック(呉)大会並びに呉みどり断酒会の創立二十五周年記念大会が賑々しく開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

このたび貴運営委員会からのご依頼により筆を執りましたが、祝意は冒頭に申し述べましたので、話題を転じ、私のエピソードらしきものをご披露してその責めを塞ぎたいと存じます。

それは十年ほど以前のことです。たまたま精神保健についてのシンポジウムがあったあとの立食パーティーのときであります。スピーカーは斉藤茂太先生で「人間ユーモアがないと面白くない」という趣旨のスピーチをされました。そのあと、司会者が私にも何か一言話せ云いました。咄嗟の場合でしたが私は「一言私たちの断酒会について申し上げます。断酒会は全国、北海道から沖縄まで開拓され、その例会において、各自の体験を語り合うことで共感を覚え、断酒生活を継続して社会復帰を成し遂げています。この事実を広く関係の医療や行政の先生方に認めていただくと同時に断酒心理のメカニズム等々のご研究のために、私たちは門戸を開きその資料(マテリアル)を惜しみなく提供することをモットーとしておりますので、皆様には私たちをもっと利用していただきたいのであります」と申し述べました。すると私の後で聞いておられた斉藤先生は「今のジョークは説得力もあつてなかなか良い、お互にユーモア心を大切にしよう」と握手を求められました。

このエピソードを思い出させた私の心の中には、多分貴地の断酒会と長尾院長先生はじめ病院のスタッフの諸氏とは、まさに前述のエピソードの趣旨を現に実施しておられるという想念があつたのかも知れません。

大変妙な祝辞となりました。お詫びして祝辞に代えさせていただきます。



創立二十五周年おめでとう

岡山県断酒新生会名誉会長

山方辰三郎

創立二十五周年、まことにお芽出とうございます。心よりお祝い申し上げます。

貴会が誕生された昭和四十年の初めは、全断連結成後、間もなくの頃で、傘下断酒会の数も、ほんの僅かで、断酒会に対する一般の関心、理解も極めて低く、断酒会活動は、まだまだ手さぐりの時代でしたが、長尾邦雄先生、澄雄先生、お二方の酒害者の更生にかけられるご温情が、呉みどり断酒会誕生の原動力となった事は、当時を知る人の、よく承知するところでございます。

以来両先生の断酒会に対する温いご理解と、ご指導、ご援助が、会員の断酒継続と、会の発展の大きな支えとなった事と存じます。又その教えは記念の会などに県外から参加した会員にも強い影響を与えておられます。

邦雄先生は断酒の継続に最も大切なことは、自分と酒とのかかわり合いを常に謙虚に反省して行動することであると繰返し、おさとし下さいましたが、その後私も長い断酒生活の途中で迷いの気持をもたげる度に、このお言葉を思い出して実践してきたお蔭で、あれ程執着しておった酒を、この年までやめ続けることが出来て、現在私なりに充実した楽しい日を過ごさせて戴いております。今の自分がありますのは、偏に先生方から賜った温情と、仲間の人達の励ましによるもので、本当に有難い事と何かある度に、何時も感謝の気持を新たに致しております。

どうか呉みどり断酒会の皆様が断酒会へ入会できたご縁を人生最大の幸運と位置づけられ、これからも益ますお元気で仲間の方達と仲よく手をつないで、断酒の道を、ひたむきに歩みつづけられ、一回きりの人生を明るく楽しいものにして戴きますよう、又貴会が、地域の中で信頼される断酒会として更に大きく輪をひろげられますよう心より祈念申しあげます。



祝 辞

(社)全日本断酒連盟参与 森 田 一 志

呉みどり断酒会二十五周年、おめでとう御座居ます。早いもので二十五年の年月がたちましたか。其の間、会の発展に力を盡されました長尾病院の院長先生をはじめ呉みどりヶ丘病院長先生とそのスタッフの全力をあげての応援があつてこそと言えてでしょう。又、加えて会員の皆さんの努力がえいえいとして、時にはつらく、又時には喜びを共にして、耐え忍んでこそ今日の慶びとなつた事を拝察すると感無量になる思いです。

扱て、私が断酒会の中で呉の地を踏んだのは岡山県断酒新生会の三周年記念大会の翌日の呉の一周年大会に出席出来ぬかと故松村会長に頼まれて二・三名の会員と出席しました。長尾病院のホールでの式典でした。当時の寛中会長夫人の体験発表を聞いた事を覚えて居ります。以来みどり断酒会とは、断酒学校其の他での付き合ひをして参りました。其れから何年かして後に会長問題がこじれて分裂的な問題が起きて私も故和田茂さんと二人で寛中氏方を訪れて一夜を語り明した事も有りました。又、再度呉の地に行き話し合ひをした事も覚えて居ります。其の後貴会にも幾多の問題が起りましたが一つ一つの問題に全員が英知を持つて事に当り、信念と努力によつて解決された事を見るに付け其の団結心の強さは一朝一夕に始められたもので無く、本物だとの感じがして来ました。其の證しとしての貴会の各地への研修会・断酒学校等における時後のミーティングによる熱心な討議をあげたい。他の人々は其の日の研修疲れに、雑談就寝等、気楽な時間帯の中で真剣な態度で一日の反省感想を各人が思い思ひの角度より分析発表するのを拝見してこれこそが今日のみどりの会の原動力となつて居る。やはり断酒会に於ける前向きな姿勢とその実践こそがアルコール依存症よりの脱却としての証明であると信じるのです。

以上二・三思いつくままに書きのべましたが、今後共一層精進の実をあげられて酒害の啓蒙運動に取り組み、明るい社会生活の一端を迎えられて三十年記念大会、いや来るべき、二十一世紀を望まれんことを切望します。



祝 辞

(社)香川県断酒会理事長 岩崎 廣明

第二十七回中国断酒ブロック大会、並びに呉みどり断酒会創立二十五周年記念大会まことにおめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

このような意義ある大会に参加させていただくとき、心の底から『断酒会に巡り合えて本当によかった』としみじみと幸福を感じさせてもらえます。人間性を取り戻すことができ、健康が与えられ、助け合って生きて行ける暖かい家庭を築くことができたからです。そして、多くの仲間と共にこの喜びを分かち合うことができるからでしょう。

「一日の断酒は誰にでもできる、その一日一日の積み重ねなのだ」と聞かされて入会しました。一日は長く、そして苦しい毎日が続きました。飲める人を見ると羨ましく、飲めない自分が惨めで、将来が不安で、思い煩うことも多くありました。そんなある日、貴会の記念大会に参加して不安がいつべんに解消させられたことを忘れることができません。

その時の様子をうまく表現できませんが、会場は入り切れないほどの人々で活気に溢れ、正面の旗のみどりが鮮やかで、天井一杯に飾り吊された沢山の小旗とあいまって全体が明るくて爽やかで気持ち良く、手作りのバンド演奏に合わせて合唱するとき、今までの不安はいつべんに消えて、『よし、やるぞ』と希望に燃えました。一生懸命で準備して大会を祝うその努力と姿勢が、自分の進む断酒の方向を決定させて貰えたものだと思います。またこのことをとおして多くのことを学ばせていただきました。感謝です。すばらしい断酒会、そしてすばらしい病院に立派な先生。これからも会長さんを中心に活躍され、三十周年に向かって呉みどり断酒会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



並んで歩こうトヤ

(社)高知県断酒新生会 理事長 小林 哲夫

創立二十五周年、おめでとうございます。呉の土を割ってみどりが芽立ったのは昭和四十二年のこと。土佐の酒の海から私が這い上がってきたのも同じ年。そのせいでしょうかこの二十五年間、私は呉みどり断酒会のみなさんと、まったく同じ道を歩いてきたような気がします。

みなさんと同じように例会に出席し、同じように酒害体験を話しました。ブロック大会等では瀬戸内海の同じ夕日をフェリーのデッキから眺め、三十三号線の新緑に同じように目を洗われました。松村断酒学校では膝を交じえて本音を語り合い、同じ飯を食い、同じ布団に寝ました。

そんな断酒生活が二十五年も続くと、これはもう同じ酒害者同士であるという仲間性をはるかに越えて、管鮑の交じわり、勿勤の友とも呼べる信頼関係があるはずです。

昨秋、入沢会長が、「神様が私にくれた最大のごほうびは孫です」と私に言いましたが、まったく同感です。しかし、入沢会長の言っていることは、世間一般の人たちの言う孫は可愛い、とは違います。私たち二人の孫は、孫であって孫でないのです。二十五年の断酒努力の中でつくり上げた自分自身なのです。だから、神様のごほうびなのです。どうして、まあ、よくも、同じことを考えるものでしょうか。

呉みどり断酒会のみなさん、失敗ばかりしている会員を愛してやって下さい。そして私も高知のそうした人を愛せます。酒をやめる気のない地域の酒害者を愛してやって下さい。そして、私もそうなれます。

呉みどり断酒会のみなさん、私の前を歩かないで下さい。私の後ろを歩かないで下さい。いつもびったり並んで歩いて下さい。そして、永久にみなさんと同じ道を歩けます。

二十五年前の新芽が大木になりましたが、もっと、もっと大きく枝を広げて、酒に悩んでいる人たちに涼しい木蔭をつくってやって下さい。



お祝いのつとば

岡山県断酒新生会会長 三宅一民

呉みどり断酒会の創立二十五周年を記念して、第二十七回中国ブロック大会を開催され、まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今過ぎ去った二十五年の歳月を振り返り先づ思い出されることは呉みどり断酒会、生みの親であり、育ての親でもあります長尾病院々長先生並びに呉みどりヶ丘病院々長先生のことでございます。両院長先生の酒害者にお寄せ下さるご熱意とご援助に対し、呉みどり断酒会の会員とご家族の皆様が日頃から活発な活動でこれにお答えし断酒継続にも大きな役割を果しておられることが私たち朋友会員にとっても無言の励ましになっております。

また日本有数の酒害専門病院である呉みどりヶ丘病院の卒業生が大勢お元気で記念大会に参加されたことに対し、長年ご指導をお続け下さいました両院長先生には感慨も一入の御事と存じております。私たち断酒会員は、お互いが断酒会に巡り合えたことで家族と共に地獄の底から一転して人間らしい人生を歩むことが出来ており、今後この道一筋に充実した断酒生活を送り続けて行かなければならないと思うし、そうすることが後へ続く人達への道しるべとなる筈だと思います。

現在まで入沢会長さんを中心にして、皆様の長年のご苦勞の甲斐があつて今日の隆盛を迎えられたことに深く敬意を表しますと共に志を同じくする私たちと致しましても酒害者にお寄せ下さる両院長先生のご温情に心から感謝し、お答えしなければなりません。私たちの断酒を支えてくれるのは断酒会員であると云う強い自覚と仲間意識である事を片時も忘れないようにしたいと思います。

最後になりましたが呉みどり断酒会の皆様がますますお元気でご精進されますと共に貴会の一層のご発展を心から祈念いたし、お祝いのことばといたします。



祝 辞

広島断酒ふたば会会長 三宅 義人

呉みどり断酒会創立二十五周年記念まことにおめでとうございます。

貴会四半世紀の歩みは院内断酒会から発展的独立、発会という全国的にも大変注目されるなかで幾多の紆余曲折する難関を會員の英知と弛まぬ努力が結集され、見事に克服し日本の栄えある二十五周年を迎えられました。

その間、貴会の母体ともいふべき呉みどりヶ丘病院での入院中に於ける貴会断酒例会での断酒の動機づけをいただいた弊会々員の数は数えきれません。ときほゞ同じくして発会した仲間として、会員及びご家族の皆様へ感謝と敬意を表するとともに心よりお喜びを申し上げます。今は亡き熊野久夫前理事長より聞かされたことでありますが、貴会発会当初の長尾邦雄、長尾澄雄両院長先生の寝食を忘れての並々ならぬご尽力は言語に絶するものがあつたと記憶致しております。こうした両先生のご恩に報いる為にも貴会がますます正統なご発展をなさいますよう心よう祈念するものであります。今後に於ける断酒会活動は行政はもとより専門病院との連携がますます重要視され、その必要性について社会的認知を受ける時も間近でありましょう。その最先端を歩まれる貴会の責任もまた誠に大きいものがあると思ひます。広島断酒会連合会のなかにあつて常にリーダーシップを発揮される貴会でありますが、今や全国的規模で注視されその活躍に期待されていると思ひます。

どうか会員及びご家族の皆様が二十五年の歩みを一つの節目として捉えられ、今こそ原点にたちかえり初心に戻って一層仲良く励まし合つて更に大きな断酒幸福の輪を広げていただきたく心よりお祈り申し上げます。



祝 辞

広島県芸南断酒会会長 山 根 多賀資

呉みどり断酒会創立二十五周年を迎えられ誠におめでとうございます。

「今回二十五年のあゆみ」が発刊されるに当り、その記念誌に、祝辞を寄せさせて頂く事は、身に余る光栄と感謝の気持で一杯でございます。呉みどり断酒会は、(社)全日本断酒連盟で五百以上の断酒会があると思いますが、その中でも八番目に創立されたと聞いております。草創期から今日迄幾多の苦難試練を乗り越えられ二十五年の歴史と伝統を築き上げられました。皆様の御苦労と御努力に対し敬意と感謝の意を表する次第でございます。

私が、呉みどり断酒会に、入会させて頂いたのは、昭和五十二年十月でした。振り返りますと、八年九ヶ月在籍させて頂いておりました。色々な角度から多数の先輩に御指導頂き、昭和六十一年六月に、入沢会長様を始め役員御一同様のお計らいにより呉みどり断酒会から分離発会、させて頂きました。発会当初は、大変な不安と戸惑いがありましたが、呉みどり断酒会の皆様を始め多くの皆様のご支援に支えられ、芸南断酒会も、おかげさまで、本年六月で創立六周年を迎える事が出来そうです。誠にありがとうございます。新たに厚く御礼申し上げます。

よく体験談の中で断酒継続のむつかしさが話されますが、断酒会組織の運営が大変むつかしい事を身を持って知る事が出来ました。この様な意味からも、呉みどり断酒会の二十五年の歴史を考えます時、皆様の御苦労を身にしみて感じております。

今後私達の良き、リーダーとして尚一層の御指導御支援賜りますようお願い申し上げます。終りに呉みどり断酒会の益々の発展と、皆様のご健康とご多幸を御祈念致しまして、はなはだ簡単ですが、御祝いの言葉とさせて頂きます。

二十五年のあゆみ

年月日	事項	年月日	事項
42・2・9	<p>昭和四十二年一月、児玉正孝（故人）和歌山断酒道場長、高橋和義氏（故人）、熊野久夫（故人）前広島断酒ふたば会会長が長尾病院を初訪問、断酒会結成の準備がはじまる。</p> <p>長尾病院長長尾邦雄先生、呉みどりヶ丘病院長長尾澄雄先生、長尾病院名誉総婦長寺岡光子様等をはじめ全院挙げての御指導と御援助のもとに、入院中の酒害者二十九名で結成初例会を院内で開催。</p> <p>長尾病院にアルコール中毒症患者の為の専門病棟「酒害センター」（二十七床）開設される。</p> <p>広島断酒ふたば会一周年記念大会が東雲会館で開催され参加、全日本断酒連盟傘下各地断酒会との交流がはじまる。</p> <p>全断連第四回全国大会が岡山市山陽新聞社大講堂で開催され初参加。</p> <p>長尾病院第一生活療法センターで第一回酒なし忘年感謝会を催す。</p> <p>大韓民国断酒同盟崔榮煥会長を迎え特別例会開催。</p> <p>長尾病院第一センターで結成一周年記念大会を開催。</p> <p>市内大空山公園で酒なし花見会を催す。</p>	43・4・28	<p>大阪市で開催された全断連代表者会議に初めて代表を送る。</p> <p>高松市で開催された第三回近県断酒交歓会（中四国プロック大会の前身）に初参加。</p> <p>第五回全国大会（静岡市）参加。</p> <p>長尾病院第一センターで第二回酒なし忘年会を開催しNHKテレビで初放映される。</p> <p>結成二周年記念大会を第一センターで開催。</p> <p>和歌山断酒道場開所式に代表者参加。</p> <p>長尾病院栃原グリーンロッジに於て広島ふたば、呉みどり共催による第一回合同夏期断酒研修会を行う。</p> <p>第十七回日本精神衛生全国大会が広島市で開催され、日本精神衛生連盟名誉総裁高松宮殿下が長尾病院酒害センターを御視察になり、代表者が断酒会の現況を御奏上親しくお言葉を賜わる。</p> <p>第六回全国大会（高知市）参加。</p> <p>第三回酒なし忘年会を第一センターで開催す。</p> <p>結成三周年記念大会を第一センターで開催し、全断連前大野理事長を初めて呉市に迎える。</p> <p>栃原グリーンロッジに於て第二回広島県夏期断酒研修会を開催。</p>
43・1・27 4・2・11 4・7		45・2・11 7・25 26	

年月日	事項	年月日	事項
45・8・16	呉市西保健所に於て酒害相談所を開設（毎月第三日曜日）	48・11・25	第十回全国大会（大阪市）参加。
9・15	第七回全国大会（北九州小倉区）参加。	49・2・3	第七回酒なし忘年会を第一センターで催す。
10・8	長尾病院酒害センターを發展的に解消し、アルコール中毒専門の呉みどりヶ丘病院（院長長尾澄雄先生、百二十床）が開院される。	49・4・7	呉市総合福祉会館ホールで七周年記念大会を開催。
12・13	第四回酒なし忘年会を第一センターで催す。	50・7・27	栃原グリーンロッジに於て第四回広島県夏期断酒研修会を担当開催。
4・18	結成四周年記念大会を第一センターで催す。	50・9・16	第十一回全国大会（横浜市）参加。
4・11	呉信用金庫本店ホールで第六回中四国ブロック大会を開催する。	50・12・11	第八回酒なし忘年会を呉市総合福祉会館で催す。
6・27	広島県断酒会連合会が発会され広島市社会福祉センターホールの発会式に参加	50・2・9	広教育センターで八周年記念特別例会を開催。
7・24	栃原グリーンロッジに於て第一回県連主催に依る広島県夏期断酒研修会を担当開催。	50・8・10	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を催す。
7・25	第八回全国大会（東京都）参加。	50・8・13	市内小仁方海岸で海水浴交歓会を行う。
11・22	第五回酒なし忘年会を第一センターで催す。	51・10・5	第十二回全国大会（札幌市）参加。
12・18	呉市西保健所講堂で結成五周年記念大会を開催。	51・10・25	呉みどりヶ丘病院開設五周年記念会が第一センターで催され参加。
7・22	栃原グリーンロッジに於て第二回広島県夏期断酒研修会を担当開催。	51・11・9	第四回広島県断酒大会、第五回県連記念大会を市内原小学校講堂で開催。
11・4	第九回全国大会（広島市）参加。	51・12・10	第九回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。
12・16	第六回酒なし忘年会を第一センターで催す。	51・12・8	九周年記念例会を第一センターで開催。
4・11	呉市総合福祉会館ホールで六周年記念大会を開催。	51・4・11	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を催す。
4・8	栃原グリーンランドで院内会員とのソフトボール交歓会を催す。	51・8・29	呉みどりヶ丘病院リハビリセンター増築落成記念特別例会に参加、以後当センターで土曜例会を行う。
8・5	市内小仁方海岸にて海水浴交歓会を催す。	52・9・26	第十三回全国大会（高松市）参加。
		52・12・13	第十回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。
			呉市民会館で創立十周年記念大会を開催。

年月日	事項	年月日	事項
52・5・8	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を行う。	55・10・19	呉みどりヶ丘病院創立十周年記念大会が催され参加。
7・31	長浜海水浴場で海水浴を行う。	11・2	第十七回全国大会（松江市）参加。
9・11	呉市民会館で第七回広島県断酒大会を開催。	12・17	第十四回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。
11・20	第十四回全国大会（福岡市）参加。	56・2・15	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立十四周年記念会を開催。
12・14	第十一回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。	4・26	栃原グリーンランドに於てソフトボール交歓会を行う。
53・2・5	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターで創立十一周年記念会を開催。	7・26	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。
4・9	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を行う。	8・29	第十八回全国大会（名古屋）参加。
7・30	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。	12・16	第十五回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。
8・23	栃原グリーンロッジで林間バーベキュー例会を行う。	57・4・11	呉市民会館に於て創立十五周年を記念して第十七回中国、四国断酒ブロック大会を開催。
11・11	第十五回全国大会（高知市）参加。	5・9	栃原グリーンランドに於てソフトボール交歓会を行う。
12・13	第十二回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。	7・25	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。
54・2・4	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターで創立十二周年記念会を開催。	8・22	栃原グリーンロッジにて林間バーベキュー例会を行う。
4・22	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を行う。	9・10	土師ダム勤労者保養センターに於て第十二回広島県断酒夏季研修会を担当開催。
7・22	狩留賀海水浴場にて海水浴を行う。	10・24	第十九回全国大会（和歌山）参加。
9・9	呉市民会館で第九回広島県断酒大会を開催。	12・15	第十六回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。
11・11	第十六回全国大会（静岡市）参加。	58・2・6	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立十六周年記念会を開催。
12・12	第十三回酒なし忘年会を総合福祉会館で催す。	5・8	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。
55・2・10	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターで創立十三周年記念会を開催。	7・24	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。
4・13	栃原グリーンランドでソフトボール交歓会を行う。	10・23	第二十回全国大会（福島市）参加。
7・27	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。	11・13	第十二回広島県精神衛生大会で呉みどり断酒会が功勞表彰を受賞する。
9・15	土師ダム勤労者保養センターに於て第十回広島県断酒夏季研修会を担当開催。		

年月日	事項	年月日	事項
58・12・14	第十七回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。	61・10・5	第二十三回全国大会（札幌市）参加。
59・2・12	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立十七周年記念会を開催。	61・12・17	第二十回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。
4・29	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。	62・2・8	呉市民会館で創立二十周年記念大会を催す。
7・22	恋ヶ浜海水浴場にて海水浴を行う。	63・2・14	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。
9・14	土師ダム勤労者保養センターに於て第十四回広島県断連夏季研修会を担当開催。	10・18	狩留賀海水場にて海水浴を行う。
10・21	第二十一回全国大会（岡山市）参加。	10・25	呉みどりヶ丘病院創立十七周年記念会に参加。
12・19	第十八回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。	10・26	第二十四回全国大会（伊勢市）参加。
2・10	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立十八周年記念会を開催。	5・3	第二十一回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。
5・12	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。	7・9	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立二十一周年記念会を開催。
7・28	狩留賀海水浴場にて海水浴を行う。	9・23	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。
10・7	今月より「新会員の集い」を行う。	9・25	三瓶保養センター（山陰）に一泊旅行を行う。
10・13	第二十二回全国大会（長崎市）参加。	10・15	湯来町「広島YMCAみのち学荘」に於て
10・20	呉みどりヶ丘病院創立十五周年（新病棟落成）記念大会が催され参加。	10・16	第十八回広島県断連夏季研修会を担当開催。
12・11	第十九回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。	12・14	第二十五回全国大会関連行事「交歓会」を担当開催。
2・9	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立十九周年記念会を開催。	平成元年	第二十二回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。
5・11	栃原グリーンランドにてソフトボール交換会を行う。	2・12	呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て創立二十二周年記念会を開催。
6・29	呉みどり断酒会より芸南断酒会が分岐、発会する。	4・29	栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。
7・27	栃原グリーンロッジにて夏季レクリエーションを行う。	5・2	今月より五ブロックに分けブロック例会を行う。
9・15	湯来町「広島YMCAみのち学荘」に於て第十六回広島県断連夏季研修会を担当開催。	10・22	栃原グリーンロッジにて夏季レクリエーションを行う
		12・13	第二十六回全国大会（大阪市）参加。
		2・11	第二十三回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。
			呉市広公民館に於て創立二十三周年記念会を開催。

年月日	事項
4・4・30	<p>栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。</p> <p>栃原グリーンロッヂにて夏季レクリエーションを行う</p> <p>千代田パークホテルに於て</p> <p>第二十回広島県断夏季研修会を担当開催。</p> <p>第二十七回全国大会（京都市）参加。</p> <p>第二十四回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。</p> <p>呉市広公民館に於て創立二十四周年を記念して</p> <p>第二十一回広島県断酒大会を開催。</p> <p>栃原グリーンランドにてソフトボール交歓会を行う。</p> <p>大奈佐美島にて海水浴を行う。</p> <p>第二十八回全国大会（新潟市）参加。</p> <p>第二十五回酒なし忘年感謝会を総合福祉会館で催す。</p> <p>今月よりブロックを七つに分け例会を行う。</p> <p>呉みどりヶ丘病院リハビリセンターに於て</p> <p>創立二十五周年記念会を開催。</p> <p>呉市文化ホールに於て</p> <p>創立二十五周年を記念して</p> <p>第二十七回中国断酒ブロック大会を開催。</p> <p>（関連行事アメシストの集い） Ⅱ 4・11</p>
4・7・22	
9・22	
10・21	
12・12	
3・10	
4・29	
8・11	
10・6	
12・18	
2・7	
4・12	
年月日	事項
年月日	事項

思い出のアルバム



創立1周年記念大会



高松宮殿下酒害センター御視察



第一回夏期合同断酒研修会
(現在の広島県断連夏季研修会)



第6回酒なし忘年会



創立6周年記念大会

思い出のアルバム



創立9周年記念例会



創立7周年記念大会



ソフトボール交歓会



創立10周年記念大会



創立10周年記念会

思い出のアルバム



第12回酒なし忘年会



創立12周年記念会



バーベキュー例会



創立14周年記念会



海水浴

思い出のアルバム



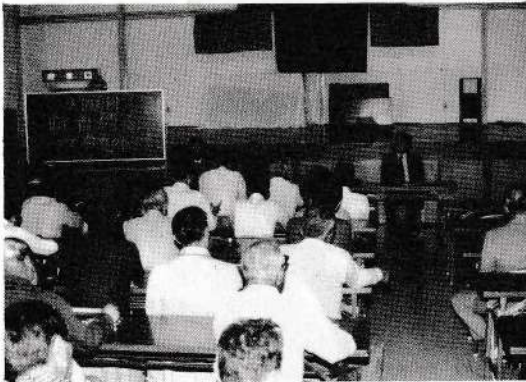
第17回中国・四国断酒ブロック大会
(創立15周年)



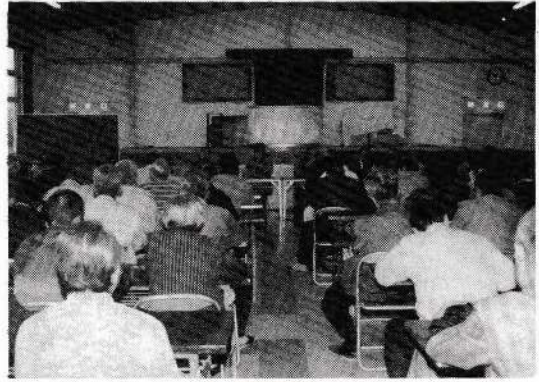
創立15周年記念会



中国新聞 (呉版)



土曜例会1000回記念



例会

思い出のアルバム



記念講演 長尾先生



特別講演 大原先生



呉市・市民会館



酒なし忘年感謝会

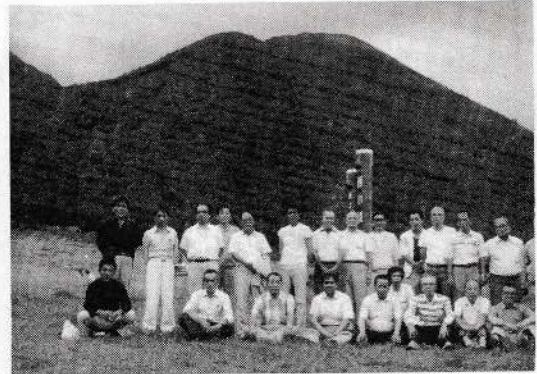


20周年記念大会

思い出のアルバム



三瓶・保養センター



三瓶高原

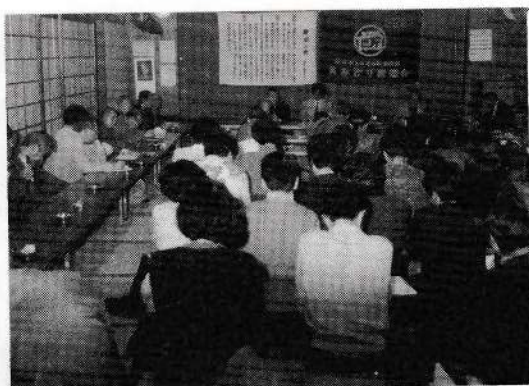


第27回大会・アピール

思い出のアルバム



全国(新潟)大会参加



水曜例会



第1回 中国ブロック・セミナー

誤字・脱字がありましたら
お許しください。

松広印刷
(株)